



青年の家だより

第29号
研修班



雪の便り、近づく師走 向寒を迎えた青年の家



初霜が降り、吐く息も白さを増し、冬の到来が間近に感じられる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

11月は、9月の臨時休館で利用が延期になっていた一般団体や小学校の宿泊学習の入所が多く、たくさんの方々に利用していただきました。一般団体の皆さんは新しい趣味を見つける創作活動など、小学校のみなさんは寒さの中でも元気に野外での活動に励んでいました！

どれくらいで火がおこる？



からりと晴れた秋空の下、火おこし体験に挑戦したのは横浜小学校のみなさんです。

青年の家では“まいぎり（舞錐）”という道具を使い、摩擦発火法を利用して火をおこします。初心者向けのまいぎり式火おこしは小学生や女性でも簡単に扱うことができます。

班のみんなと声を掛け合いながら、取り組む姿はとても楽しそうでした！



削って、また削って…



出前講座で初めての勾玉作りに挑戦したのは野辺地町子ども会のみなさんです。

勾玉に型紙で形を描き、形に沿ってやすりでひたすら削り続ける勾玉作りは、全員が同じ型紙でも削り方によって出来上がりの大きさや凹凸が様々です。作り終えたら好きな色で着色できるので、またそこでも個性が出ます。

初めての勾玉作りに苦戦しながらも、みなさん上手に作ることが出来ました！

